

SDGsについて

令和3年10月14日

大阪府 企画室 推進課

1. SDGsとは
2. なぜSDGs
3. 大阪府とSDGs
4. SDGsの進め方

1. SDGsとは

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

- 2015年9月国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載。
- **2030年**までの国際目標。発展途上国のみならず、先進国自身も取り組む。
- 持続可能な世界を実現するための**17のゴール(目標)**、**169のターゲット**から構成。



(出典) 国連広報センター

SDGsの17のゴール

①貧困	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
②飢餓	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
③保健	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
④教育	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
⑤ジェンダー	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
⑥水・衛生	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
⑦エネルギー	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
⑧経済成長と雇用	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。
⑨インフラ、産業化、イノベーション	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。

⑩不平等	各国内及び各国間の不平等を是正する。
⑪持続可能な都市	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
⑫持続可能な生産と消費	持続可能な生産消費形態を確保する。
⑬気候変動	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
⑭海洋資源	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
⑮陸上資源	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
⑯平和	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
⑰実施手段	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

2. なぜSDGs

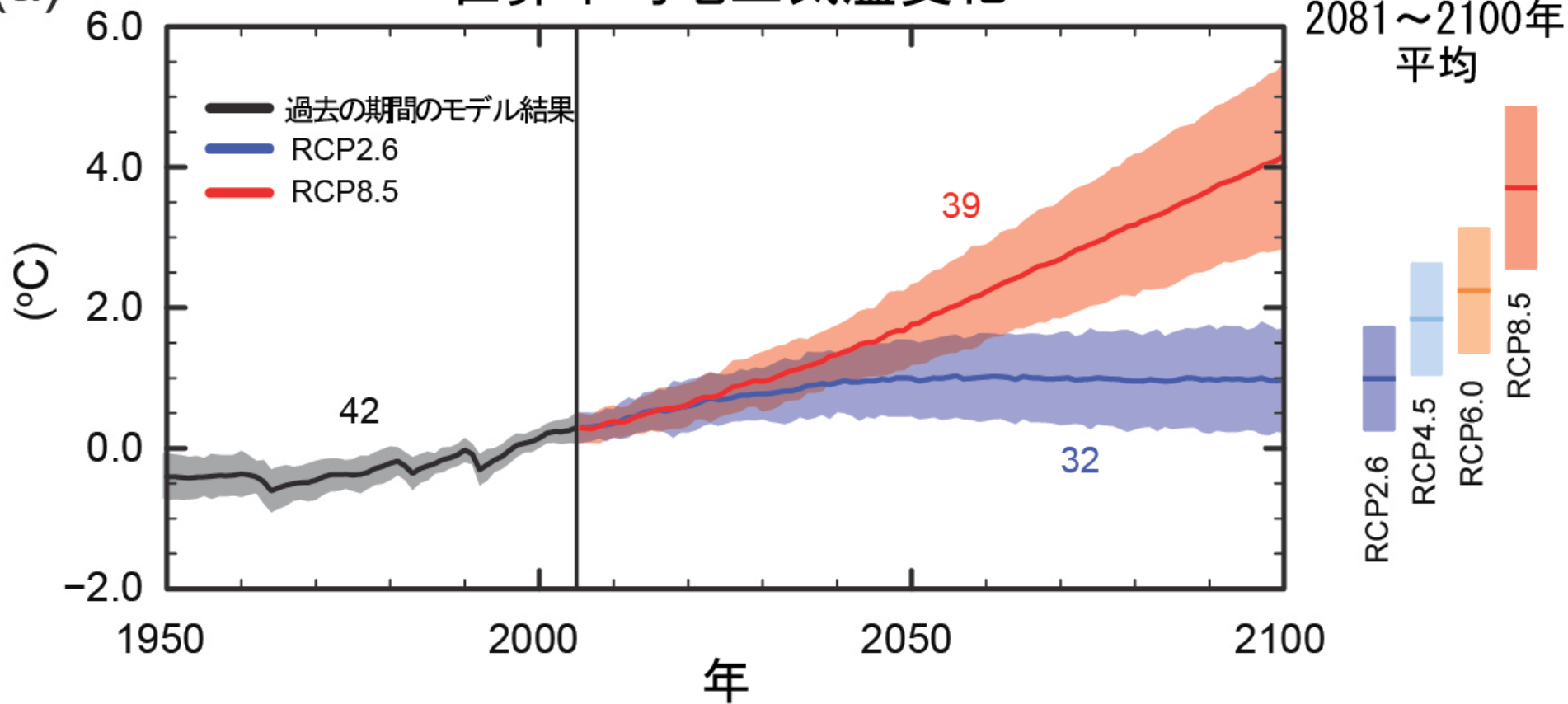
持続可能とは

将来世代のニーズを損なうことなく

現在の世代のニーズを満たすこと

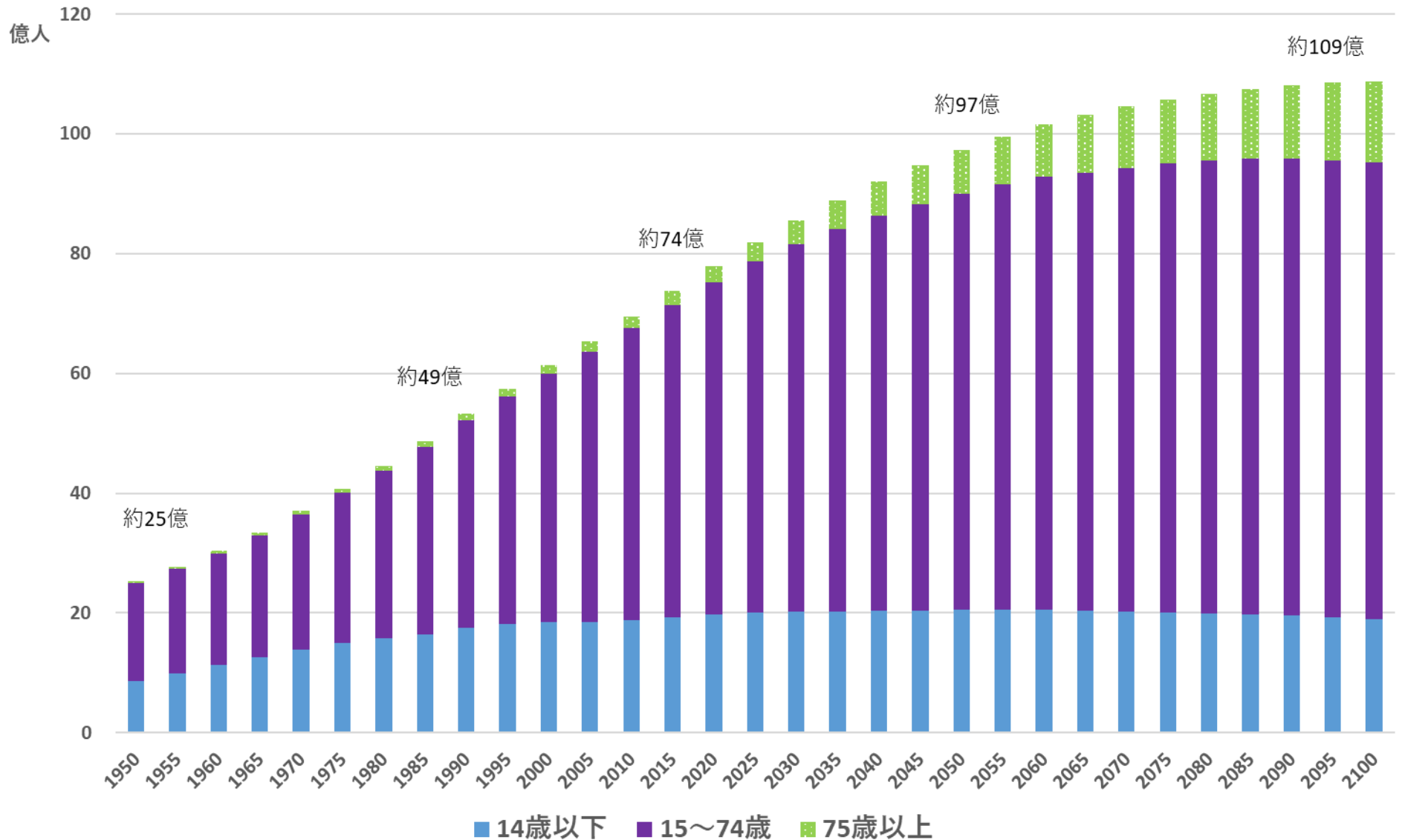
(a)

世界平均地上気温変化



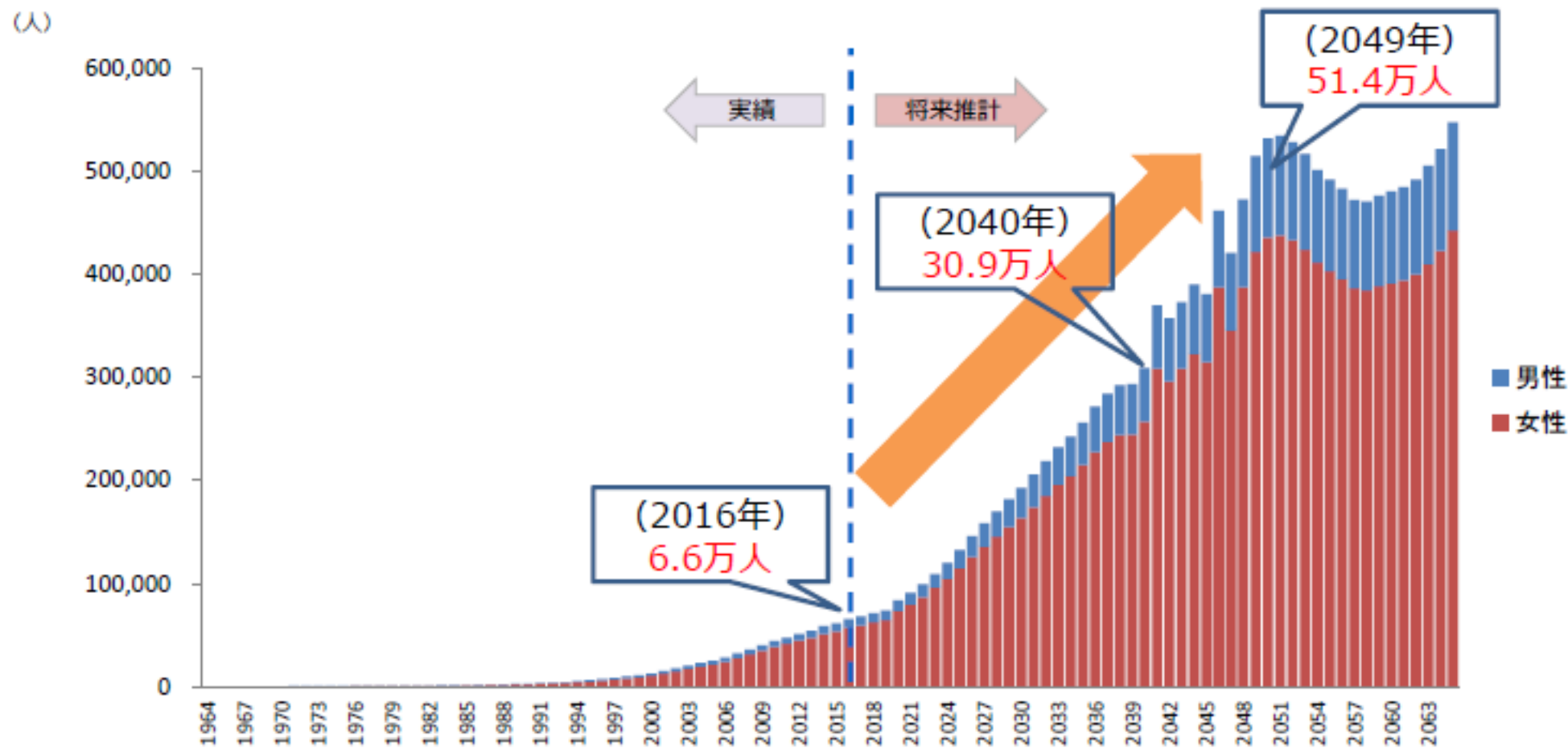
出典: 気象庁

世界人口の増加



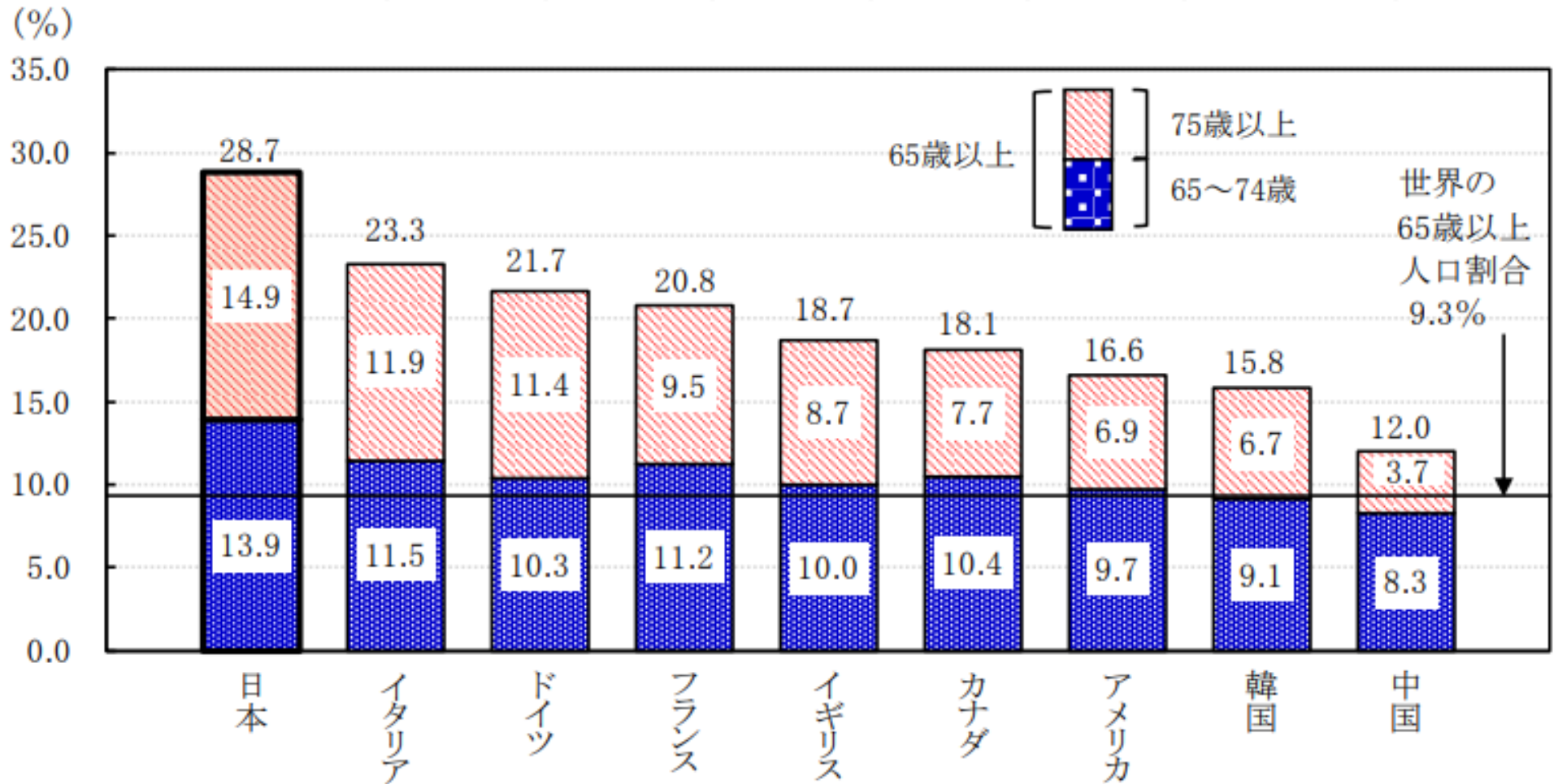
出典: 国際連合「世界人口予測・2019年版」(関連HPを含む)

100歳以上高齢者の年次推移



(出所) 厚生労働省「男女別百歳以上高齢者数の年次推移」「国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年4月推計）」

高齢者人口の割合（2020年）



SDGsが達成できなかつたら

地球温暖化の進行

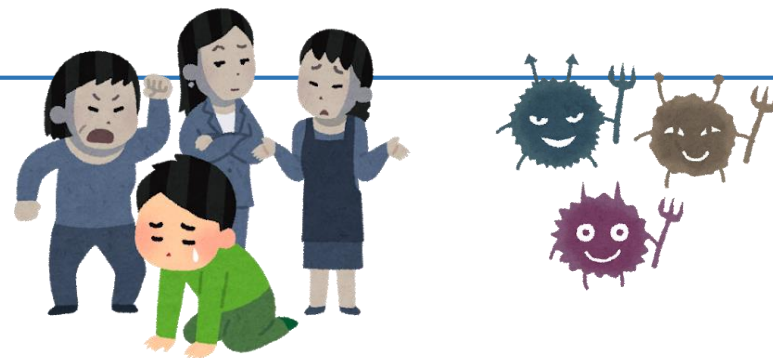
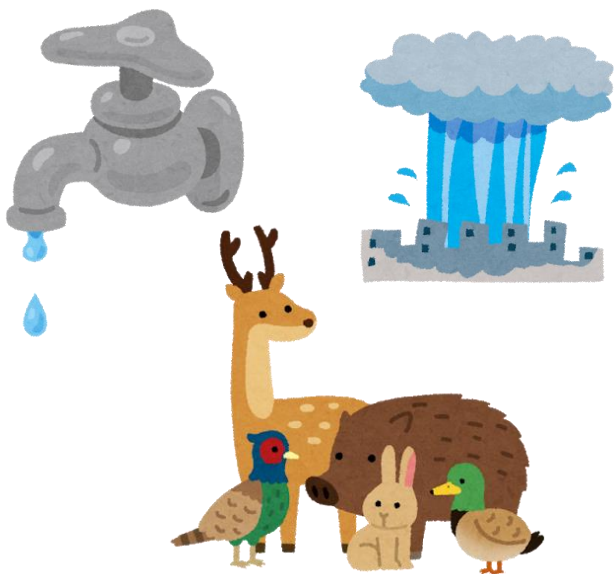
エネルギー問題の深刻化

自然災害の増加

水問題の深刻化

生物多様性の喪失

気候変動の激化



貧困

感染症の拡大

教育機会の不平等

人口爆発

少子高齢化

様々な差別とハラスメント

紛争の長期化・複雑化

経済危機の頻発

若年失業率の高さ

社会福祉財源の不足

経済格差の拡大





Seventieth session
Agenda items 15 and 116

Integrated and coordinated implementation of and follow-up to the outcomes of the major United Nations conferences and summits in the economic, social and related fields

Follow-up to the outcome of the Millennium Summit

Draft resolution referred to the United Nations summit for the adoption of the post-2015 development agenda by the General Assembly at its sixty-ninth session

Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development

The General Assembly

Adopts the following outcome document of the United Nations summit for the adoption of the post-2015 development agenda:

Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development

Preamble

This Agenda is a plan of action for people, planet and prosperity. It also seeks to strengthen universal peace in larger freedom. We recognize that eradicating poverty in all its forms and dimensions, including extreme poverty, is the greatest global challenge and an indispensable requirement for sustainable development.

All countries and all stakeholders, acting in collaborative partnership, will implement this plan. We are resolved to free the human race from the tyranny of poverty and want and to heal and secure our planet. We are determined to take the bold and transformative steps which are urgently needed to shift the world on to a sustainable and resilient path. As we embark on this collective journey, we pledge that no one will be left behind.

The 17 Sustainable Development Goals and 169 targets which we are announcing today demonstrate the scale and ambition of this new universal Agenda. They seek to build on the Millennium Development Goals and complete what they did not achieve. They seek to realize the human rights of all and to achieve gender



2030アジェンダ 本文 35ページ、91段落

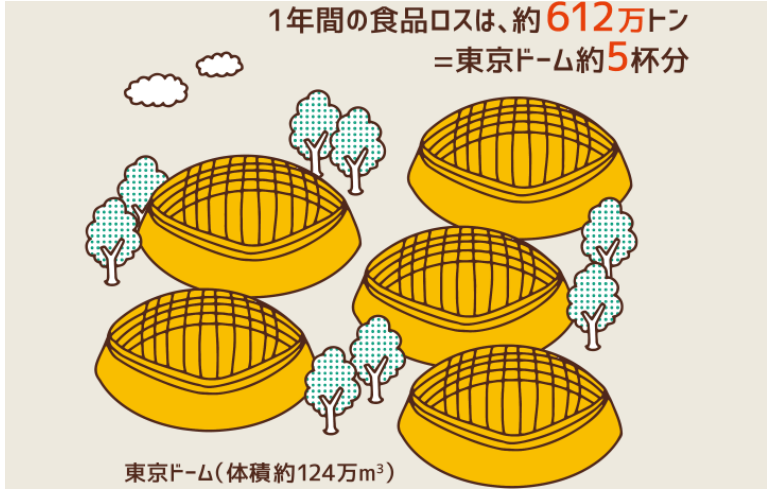


各ゴールの課題《例》

(どんな問題が発生しているのか)

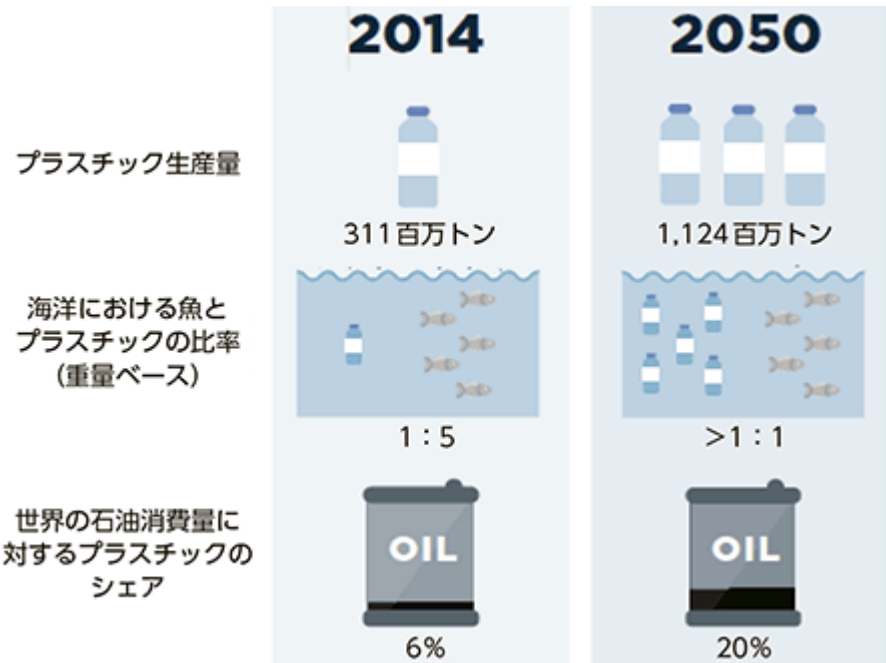
目標12: 持続可能な消費と生産のパターンを確保する

12 つくる責任
つかう責任

出典: 農林水産省HP

目標14: 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



大阪湾の海岸に漂着したプラスチックごみ

2050年には海洋プラスチックごみは海の魚の量を上回り、消費する原油の20%がプラスチック制作に使用されると予測されている。

資料: The New Plastics Economy Rethinking the future of plastics



SDGsの理念・ポイント

- ①SDGsは世界共通の言語
- ②経済、社会、環境の統合的解決
- ③誰一人取り残さない
- ④横串の視点
- ⑤バックカスティング
- ⑥ルールを決めた必達目標ではなく、各主体がめざすべき目標を作る

①SDGsは世界共通の言語

ポイント1

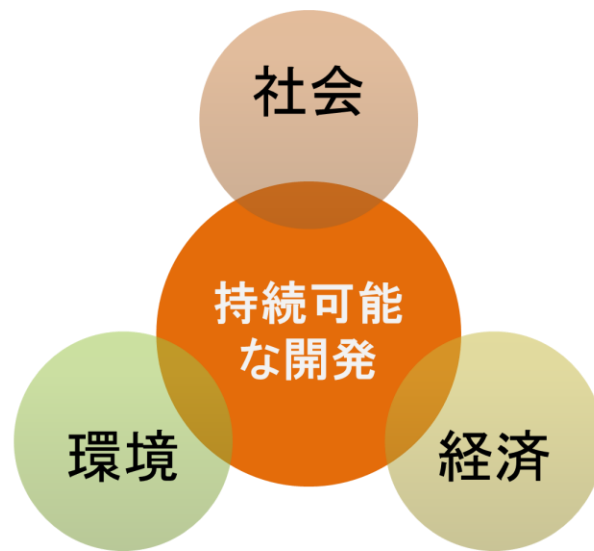
国連の全加盟国で合意。「誰も否定できない」明確な価値とゴールの提示。

ポイント2

17のゴールのアイコンは世界共通の言語。コミットしている社会課題を世界に宣誓。



② 経済、社会、環境の統合による課題解決と新しい価値の創造



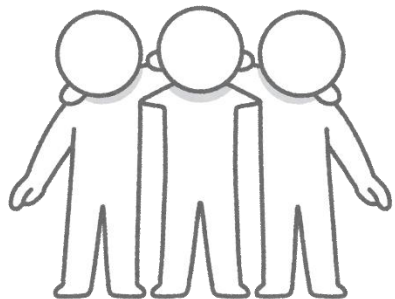
ポイント1：社会課題の併記

これまで対立すると考えられていた、「人権と開発」、「環境と経済成長」等の社会課題を併記。
(「より良い社会」というより高次のビジョンの提示)

ポイント2：経済的な視点の包摂

「持続可能性」≒「経済性の担保」⇒ 経済的な要素の必要性を謳う。
(ビジネスなど、自己メリット追及型の課題解決アプローチの許容)

③ 誰一人取り残さない



みんなで頑張る



社会的に弱い立場にある人々をも含め市民ひとりひとり、排除や摩擦、孤独や孤立から援護し、社会（地域社会）の一員として取り込み、支え合う考え方のこと。

ポイント1：野心的（背伸び）

全ての人を救済するというハードルの高い、野心的な理念・ビジョンの提示

ポイント2：支えあいの精神

SDGs達成のために取り組むべき主体は国際社会、地域（region）、国家、地方(local)、企業、教育機関、NPO/NGO、個人。

⇒どんな人間も必ず課題解決のアクターになりうる。

④横串の視点

(1)同時解決

あるゴールの解決のための取組みを、別のゴールの課題解決につなげる



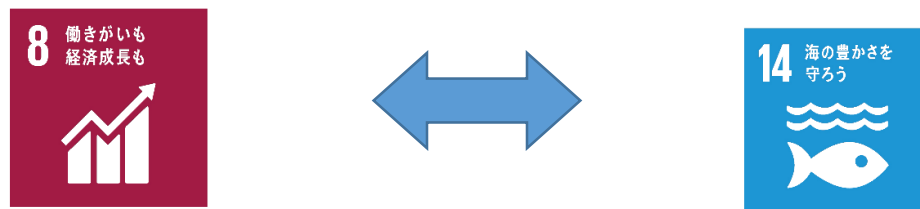
(2)インパクトのベクトルを変える

社会に悪影響を及ぼすアクションに工夫を加え、別のゴールのポジティブアクションに変える



(3)トレードオフの考慮

社会のためにしていることが、他のゴールの視点で見ると悪影響を及ぼす可能性を考慮する



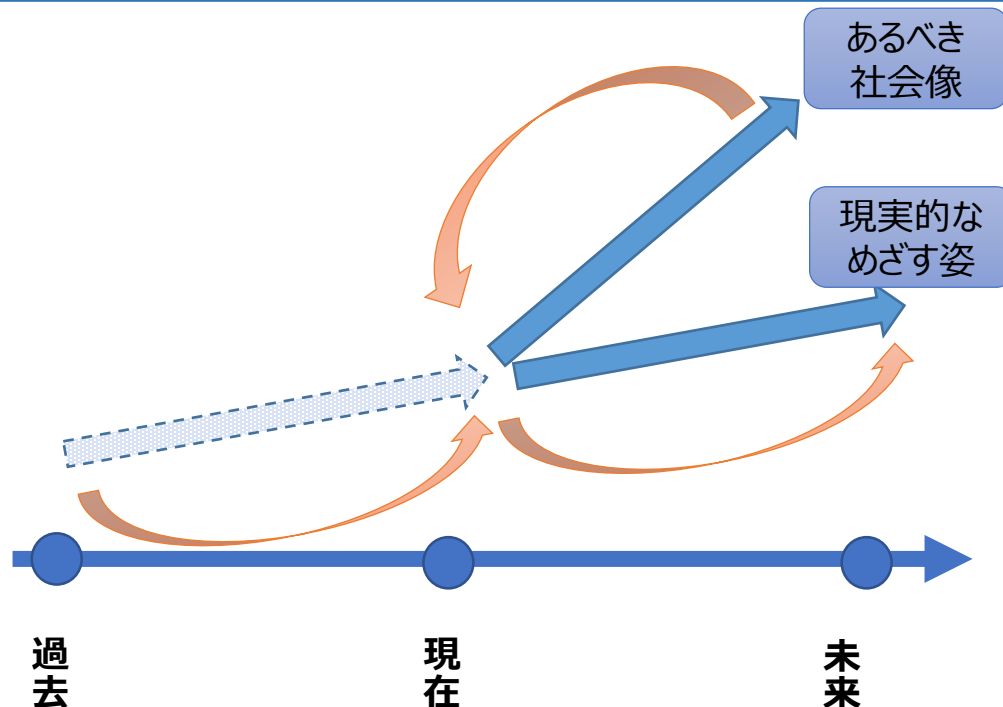
⑤ バックキャストイング

「バックキャストイング」

未来のある時点に目標を設定しておき、そこから振り返って現在すべきことを考える方法

「フォアキャストイング」

過去のデータや実績などに基づき、現状で実現可能と考えられることを積み上げて、未来の目標に近づけようとする方法



ポイント1：社会課題解決のイメージの変革

義務的な行動ではなく、主体的な行動の誘発

ポイント2：「小役人」からの脱却

できない理由を考えるのではなく、よりよくするためのアイデアを出す

⑥ルールを決めた必達目標ではなく、各主体がめざすべき目標を作る

ポイント1 : SDGsは2030年にあるべきゴールのみを提示 (⇔京都議定書等)

「健康のために走る」、「ラーメンの汁を飲み干す」、「トイレでも手を洗わない」

なんでもSDGs

ポイント2 : 世界の共通目標と、個人や地域の取組みがつながる

プロジェクトベースで、17ゴール・169のターゲットとのロジックを整理する

(例)

- ・「健康のために走る」→「交通機関を使用しないため石油の使用量が減る」(ゴール13)
- ・「ラーメンの汁を飲み干す」→「ラーメンの汁の廃棄の減少」→「持続可能な海洋資源の構築」(ゴール14)
※健康には悪い?
- ・「トイレで手を洗わない」→「水の節約」→「持続可能な水環境の整備」(ゴール6)
※不衛生では?

3. 大阪府とSDGs

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）

◆テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン

“Designing Future Society for Our Lives”

◆開催期間：2025年4/13～10/13(184日間)

◆開催場所：夢洲（大阪市臨海部）

◆入場者（想定）：約2,800万人

◆経済効果：約2兆円



SDGsと2025年大阪・関西万博

SDGs

将来像

SDGsが達成された社会

理念

- ◆ **誰一人取り残さない**
- ◆ **将来世代のニーズを損なうことなく、今の世代のニーズを満たす**

達成ポイント

先端技術を活用した社会課題の解決

特徴

持続可能な社会の実現に向け、世界の大胆な変革が必要となることを、全ての国連加盟国が採択
(人類の英知の結集)

目標年限

2030年

大阪・関西万博

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ

Saving Lives (いのちを救う)
Empowering Lives (いのちに力を与える)
Connecting Lives (いのちをつなぐ)

コンセプト

People's Living Lab (未来社会の実験場)

特徴

地球規模のさまざまな課題に取り組むために、
世界各地から英知を集める場

開催時期

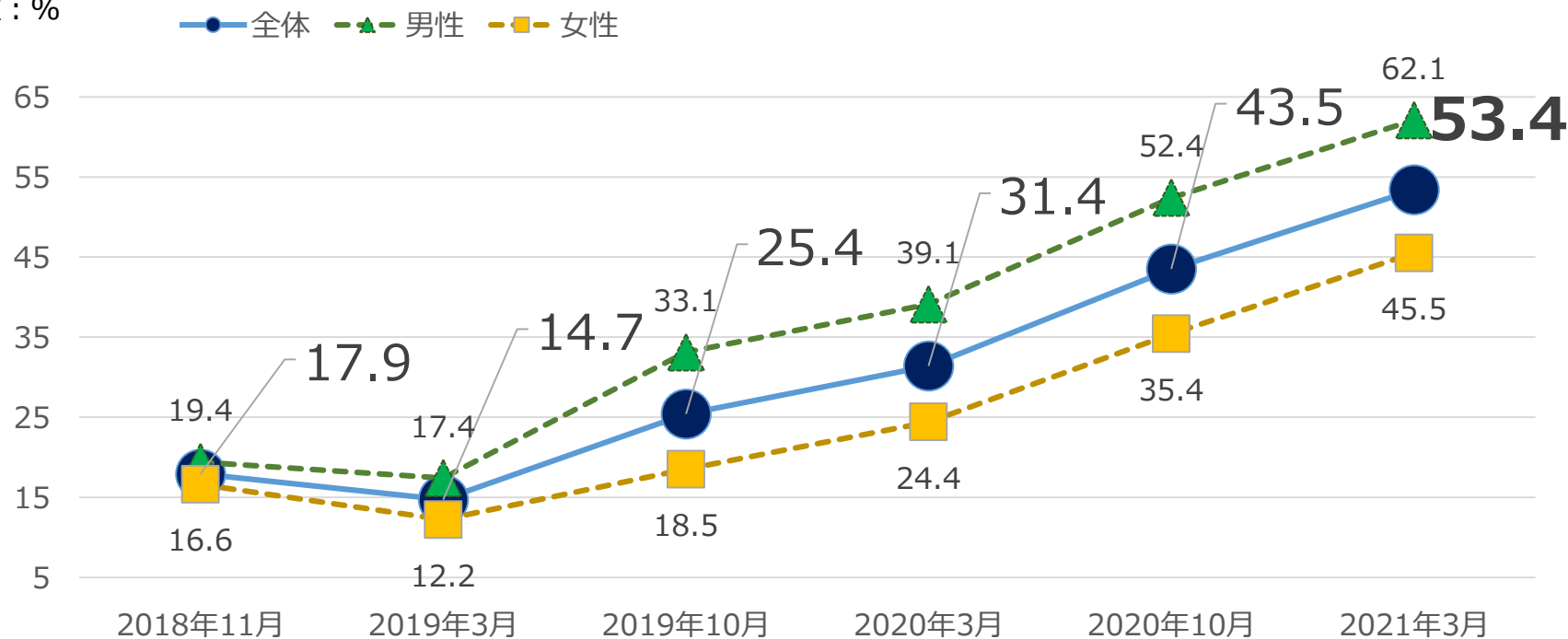
2025年

SDGsの認知度調査

■ SDGs認知度（大阪）

府民全体の認知度は、53.4%（2021年3月時点）

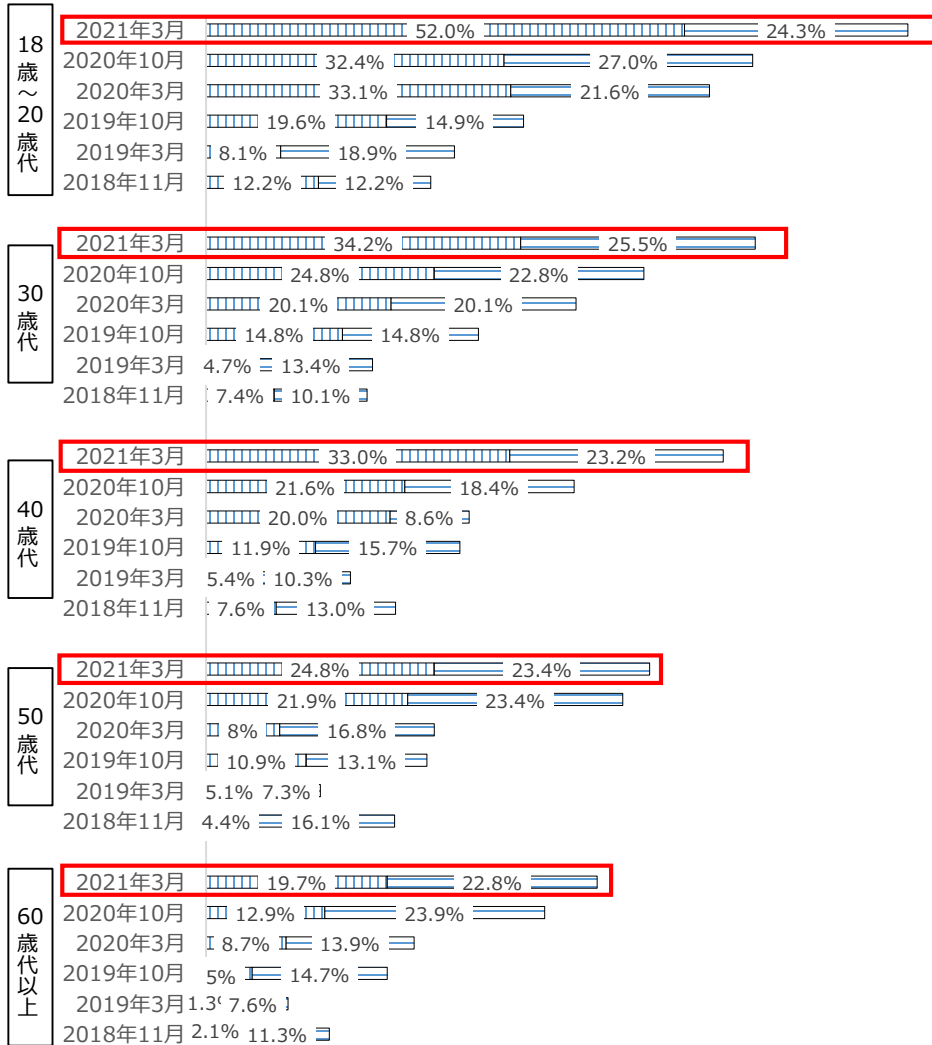
単位：%



大阪府のネット調査（大阪Qネット）を活用して、府民を対象にSDGsの認知度を調査
（対象者条件：18歳以上の男女、サンプル数：1,000名）

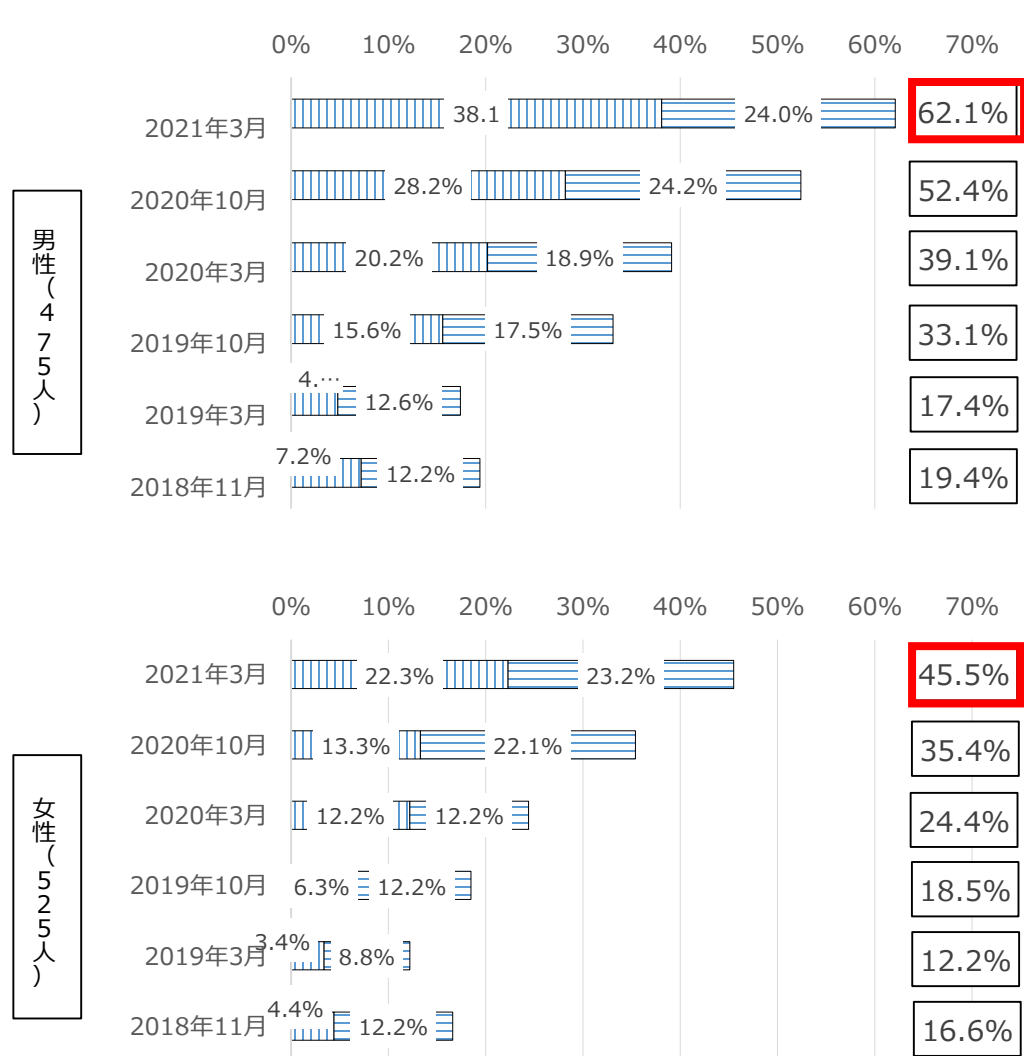
SDGsの認知度調査

■ SDGs認知度（年齢別）



■ SDGsを知っている ■ SDGsということばは聞いたことがある。ロゴを見たことがある

■ SDGs認知度（性別）



■ SDGsを知っている ■ SDGsということばは聞いたことがある。ロゴを見たことがある

例えばこんなこともSDGsです。

マイバッグ・マイボトルを常に持っている！

14

海の豊かさを
守ろう



ウォーキングなど健康のために運動する！

3

すべての人に
健康と福祉を



誰もが働きやすい
職場環境を作る！

8

働きがいも
経済成長も



ペーパーレス・オンライン化を進める！

15

陸の豊かさも
守ろう



いらぬ物は買わない。
買い物は計画的に！

12

つくる責任
つかう責任



防災グッズ・防災マップの確認をする！

11

住み続けられる
まちづくりを



- ・食べ残しをしないようにする
- ・服は捨てずに、なるべくリサイクルする
- ・詰め替え可能な商品を買う
- ・使っていない部屋の電気や家電の電源はこまめに消す、節水を心がける
- ・仕事や買い物で歩いていける所は歩いて行くようにする
- ・ごみの分別に取り組む、可能な限りリサイクルを進める、再利用できるものを自分で考えて使うようにする
- ・コーヒーやチョコレートなどを購入する際には、国際フェアトレード認証などの付いたエシカルな商品を意識して購入するようにする

4. SDGsの進め方

Dari K (ダリケー) 株式会社



<主な事業>
日本ではあまり馴染みのないインドネシア産カカオ豆の栽培から、それらを使用したチョコレートを製造・販売まで一貫して行う京都のチョコレート店

〒603-8205 京都府京都市北区紫竹西高縄町72-2

<https://www.dari-k.com/>



Dari K (ダリケー) 株式会社

～「カカオ」を通して世界を変える-努力が報われる社会に-～



<カカオ豆の栽培からチョコレートの製造・販売までを一貫して実施>

1 貧困をなくそう



カカオの生産量世界第3位であるインドネシアで、高品質なカカオ豆作りに必要不可欠な発酵技術を指導し、直接買い取ることで、生産者の所得向上を実現

13 気候変動に具体的な対策を



カカオのほか、トロピカルフルーツなども一緒に栽培する方法（アグロフォレストリー農法）を指導し持続的な土地利用を実現

8 働きがいも経済成長も



カカオ農園ツアーを開催し、生産者と消費者の交流を行い、生産者の働きがい、やる気をアップ

◆「三方良し」のビジネスモデルの実現

【主なメリット】

- (1) 生産者 高品質なカカオの栽培・加工技術の習得と所得の向上
- (2) Dari K 高品質なカカオ豆の確保、美味しさとストーリー性の実現によるブランド化、販路拡大
- (3) 消費者 美味しいチョコレートを楽しみながら、社会にも貢献できる

いずみ市民生協



＜主な事業＞
食品や日用雑貨、ファッション・コスメ、チケット、
保険や電気など暮らしに関するあらゆる製品・
サービスを提供

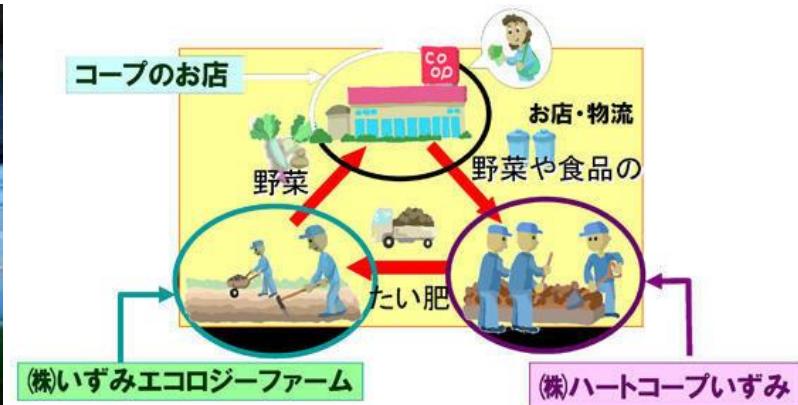
いずみ市民生協グループは、SDGsにとりこんでいます



エコバスツアー



配送でのリサイクル回収



食品リサイクル・ループ



みんなで参加しよう！
私のSDGs宣言プロジェクト

私のSDGs宣言
はこれ！



SDGsはむずかしくない！

はじめよう！SDGs



私のSDGs宣言プロジェクトへの参加方法

大阪府SDGs [公式] Twitter

- @osakaprefSDGs をフォロー
- #私のSDGs宣言プロジェクト をつけて参加してね！



大阪府インターネット申請・申込みサービス



大阪府 SDGs で検索！

ご清聴ありがとうございました。

大阪府 SDGs



⇒ HP「大阪府／大阪府におけるSDGsの取組み」

【お問い合わせ先】

大阪府 政策企画部 企画室 推進課

TEL:06-6941-0351

Mail:osaka_SDGs@gbox.pref.osaka.lg.jp

